



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 フェイス
 コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平澤 創
 (氏名) 佐伯 次郎

TEL 03-5464-7633

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,669	△94.0	278	△62.7	229	△71.0	184	△57.8
24年3月期第1四半期	27,831	62.5	746	105.1	790	111.3	436	235.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 143百万円 (△73.4%) 24年3月期第1四半期 541百万円 (273.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	160.61	—
24年3月期第1四半期	380.20	377.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	22,025	19,705	89.4	17,146.49
24年3月期	23,518	19,618	83.3	17,066.74

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 19,685百万円 24年3月期 19,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	△88.3	150	△86.2	80	△93.1	60	△99.0	52.26
通期	7,300	△78.2	540	△65.7	490	△72.1	430	△93.5	374.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	1,196,000 株	24年3月期	1,196,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	47,950 株	24年3月期	47,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	1,148,050 株	24年3月期1Q	1,148,050 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年3月末時点での国内携帯・スマートフォンの契約数は、1億2,000万件(※1)を超え、成熟期を迎えています。特に、スマートフォンの需要が引き続き好調に推移しており、平成24年の携帯・スマートフォン出荷台数予測3,100万台(※2)のうち、スマートフォンは出荷台数の半数以上を占めると見込まれています。これらスマートフォンやタブレットなど様々なモバイル端末の特性を活用したSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)やソーシャルゲーム、動画共有サイト等のサービスが多様化・複雑化しており、ユーザーニーズに即した新たなサービスやコンテンツ流通のしくみ創りが求められています。

※1 MM総研調べ、※2 Gartner社調べ

このような環境下において、当社グループは、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略(様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造)』のもと、クオリティの高い優良コンテンツを集約し、ユーザーへ届けるためのコンテンツ流通のしくみ創りに注力しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は平成23年7月に当社の連結子会社であった株式会社ウェブマネーの全株式を売却したこともあり前年同期比94.0%減の1,669百万円、営業利益は前年同期比62.7%減の278百万円、経常利益は前年同期比71.0%減の229百万円、四半期純利益は前年同期比57.8%減の184百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

<コンテンツ事業>

「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に努めました。

海外では既に、Facebook等のソーシャルサービスを活用する新たな音楽プロモーションが主流となりつつあります。当社でも、日本国内では初となる本格的なソーシャルミュージックアプリ「viBirth App」サービスを開始いたしました。本サービスでは、楽曲購入、再生、無料動画の視聴、写真掲載、Twitter等の機能全てをアーティストとファンが無料で利用することができ、著名なアーティストのFacebookページとして利用が始まっています。また、ソニー株式会社の液晶テレビ「ブラビア」やブルーレイディスクプレーヤーなどでお楽しみいただける本格カラオケサービス「JOYSOUND.TV」を株式会社エクシングと開発し、サービス提供を開始いたしました。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は着信メロディ事業の減収等により前年同期比16.0%減の1,371百万円となりましたが、のれん償却負担の減少が寄与したことにより営業利益は前年同期比0.2%減の253百万円となりました。

<ポイント事業>

ポイント事業については、ポイントカードによる売上は堅調に推移いたしましたが、家電エコポイントの交換申請期限の到来に伴う商品供給の減少により、売上高は前年同期比38.2%減の297百万円となり、営業利益は前年同期比59.1%減の24百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,493百万円減少し、22,025百万円となりました。主として現金及び預金、投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,579百万円減少し、2,320百万円となりました。主として法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少および返済による長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、19,705百万円となりました。これは、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益を計上したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は6.1ポイント増加して、89.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に開示いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,712,005	12,538,466
受取手形及び売掛金	1,106,836	1,054,677
有価証券	239,790	440,230
商品及び製品	2,580	4,298
仕掛品	8,199	13,574
原材料及び貯蔵品	7,817	8,235
繰延税金資産	28,269	28,269
その他	260,218	173,372
貸倒引当金	△29,816	△28,302
流動資産合計	15,335,901	14,232,822
固定資産		
有形固定資産	3,007,786	2,975,661
無形固定資産		
のれん	40,599	34,516
その他	382,135	375,957
無形固定資産合計	422,734	410,474
投資その他の資産		
投資有価証券	4,644,916	4,331,631
その他	121,294	75,734
貸倒引当金	△13,734	△568
投資その他の資産合計	4,752,477	4,406,797
固定資産合計	8,182,998	7,792,933
資産合計	23,518,900	22,025,756
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	187,933	168,096
短期借入金	399,984	399,984
未払法人税等	1,424,393	50,952
ポイント引当金	208,142	196,214
賞与引当金	73,566	54,287
その他	614,625	569,717
流動負債合計	2,908,644	1,439,252
固定負債		
長期借入金	733,384	633,388
繰延税金負債	125,729	108,423
退職給付引当金	109,389	117,404
その他	22,846	21,795
固定負債合計	991,350	881,011
負債合計	3,899,995	2,320,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	13,106,638	13,233,622
自己株式	△651,377	△651,377
株主資本合計	19,381,616	19,508,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,124	195,927
為替換算調整勘定	△15,270	△19,496
その他の包括利益累計額合計	211,853	176,430
少数株主持分	25,435	20,461
純資産合計	19,618,905	19,705,491
負債純資産合計	23,518,900	22,025,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	27,831,290	1,669,316
売上原価	24,781,762	809,958
売上総利益	3,049,528	859,358
販売費及び一般管理費	2,303,345	581,083
営業利益	746,182	278,274
営業外収益		
受取利息	1,913	9,820
受取配当金	3,392	3,767
有価証券利息	10,594	965
持分法による投資利益	35,877	—
雑収入	975	1,348
営業外収益合計	52,754	15,902
営業外費用		
支払利息	4,410	2,015
持分法による投資損失	—	56,994
為替差損	4,206	5,568
雑支出	—	103
営業外費用合計	8,617	64,681
経常利益	790,319	229,494
特別利益		
投資有価証券売却益	27,995	—
特別利益合計	27,995	—
特別損失		
固定資産処分損	375	3,460
投資有価証券評価損	—	2,573
特別損失合計	375	6,034
税金等調整前四半期純利益	817,939	223,460
法人税等	235,555	44,048
少数株主損益調整前四半期純利益	582,383	179,412
少数株主利益又は少数株主損失(△)	145,899	△4,973
四半期純利益	436,484	184,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	582,383	179,412
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△988	△31,028
持分法適用会社に対する持分相当額	△40,075	△4,394
その他の包括利益合計	△41,064	△35,422
四半期包括利益	541,319	143,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,419	148,963
少数株主に係る四半期包括利益	145,899	△4,973

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	電子マネー	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,632,350	25,717,225	481,714	27,831,290	—	27,831,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,962	400	—	51,362	△51,362	—
計	1,683,313	25,717,625	481,714	27,882,652	△51,362	27,831,290
セグメント利益	253,976	430,774	60,627	745,377	805	746,182

(注) 1. セグメント利益の調整額805千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,371,654	297,661	1,669,316	—	1,669,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,248	—	5,248	△5,248	—
計	1,376,903	297,661	1,674,565	△5,248	1,669,316
セグメント利益	253,571	24,780	278,352	△78	278,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△78千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」及び「電子マネー事業」の2区分から、「コンテンツ事業」及び「ポイント事業」の2区分に変更しております。

この変更は、平成23年7月19日に子会社である株式会社ウェブマネーの株式を売却し「電子マネー事業」がなくなったこと、及び、従来「その他」に含めていた「ポイント事業」のセグメントとしての重要性が高まったためであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第一四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。